

重要情報シート（個別商品編）

hifumiクロスオーバーpro

1. 商品等の内容 当社は、本商品の組成会社（運用会社）であり、本商品の販売も行なっています。

金融商品の名称・種類	hifumiクロスオーバーpro（追加型投信／内外／株式）
組成会社（運用会社）	レオス・キャピタルワークス株式会社
販売委託元	レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品の目的・機能	【組成会社の経営理念】 レオス・キャピタルワークス株式会社の経営理念は「資本市場を通じて社会に貢献します」です。投資信託ブランドである「hifumi」は、この経営理念の下、社会を根っこから元気にしていく本来の投資の価値を体現する投資信託を目指して2008年に誕生しました。 【当金融商品の目的】 信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として、hifumiクロスオーバーマザーファンドおよびhifumi投信マザーファンドの受益証券を通じて、国内外の未上場株式および上場株式に投資を行います。 【機能】 ・主に成長が期待できる国内外の未上場株式と上場株式に投資します。 ・クロスオーバー投資※を通じて、さまざまな成長ステージの企業を応援します。 ※クロスオーバー投資とは、未上場株式と上場株式の両方に投資することを指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・元本割れリスクを許容する方 ・中長期での資産形成を目的とする方 例えば -未上場株式・上場株式の成長を期待したいとお考えの方 -つみたてによる資産形成をお考えの方 -投資を通じて未来をゆたかにしたいとお考えの方
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

2. リスクと運用実績 本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。

損失が生じるリスクの内容	・当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としているため、市場や為替の動きによる価格変動のほか、投資先などの破綻や債務不履行による影響を受け、元本欠損が生じる可能性があります。 ・当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。詳しくは目論見書をご覧ください。 「価格変動リスク」「流動性リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）」「未上場株式等への投資に関する主なリスク」
〔参考〕過去1年間の収益率	hifumiクロスオーバーproは2024年9月12日に運用を開始しておりデータが1年に満たないため、該当事項はありません。
〔参考〕過去5年間の収益率	hifumiクロスオーバーproは2024年9月12日に運用を開始しており、月末データが1年に満たないため、該当事項はありません。

※損失リスクおよび未上場株式等への投資に関する主なリスクの詳細は交付目論見書のP6～7に記載しています。運用実績の詳細は交付目論見書のP9～10に記載しています。

3. 費用 本商品の保有には、費用が発生します。

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	ありません。
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬は、ファンドの純資産総額に 年率1.650%（税抜年率1.500%） を乗じて得た額。その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※上記以外に生じる費用を含めた詳細は交付目論見書のP13および目論見書補完書面に記載しています。

4. 換金・解約の条件 本商品に償還期限はなく、換金・解約時に発生する費用はありません。

償還期限	この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。
換金・解約時手数料等	この商品をお客様が換金・解約しようとする場合の手数料や信託財産留保額ははありません。
換金・解約の制限事項	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情（流動性の極端な減少ならびに資金の受渡しに関する障害等）があるときは、換金・解約ができないことがあります。

※詳細は交付目論見書のP11に記載しています。

5. 当社の利益とおお客様の利益が反する可能性

手数料	当社がお客様にこの商品を販売した場合、当社は、お客様が支払う信託報酬等のうち、年率0.770%（税抜年率0.700%）を手数料を頂きます。これは運用報告書等各種書類の提供等、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
組成会社等との関係	当社は、この商品の組成会社であり且つお客様に直接販売する会社でもあります。
営業職員に対する業績評価	当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「フィデューシャリー・デューティー宣言」の【利益相反の適切な管理】をご参照ください。<https://www.rheos.jp/governance/fiduciaryduty.html>

6. 租税の概要 NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください。

税金は以下に記載の時期に適用されます。 以下は個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。 ①分配時…配当所得として、普通分配金に対して20.315%課税（所得税、復興特別所得税および地方税） ②換金（解約）および償還時…譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%課税（所得税、復興特別所得税および地方税） 「ひふみクロスオーバーpro」はNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。 ※上記は、2025年7月末現在のものです。
--

※詳細は交付目論見書のP14に記載しています。

7. その他参考情報 ご契約にあたっては、当社 Web サイトに掲載された次の書面をよくご覧ください。

目論見書補完書面および目論見書はひふみ公式サイトでご確認いただけます。 目論見書補完書面はこちら https://hifumi.rheos.jp/fund/crossover/pdf/crossover_hokan_20251018.pdf 目論見書はこちら https://hifumi.rheos.jp/fund/crossover/pdf/crossover_kofu_20251018.pdf

※「目論見書補完書面」および「目論見書」については、ご希望があれば、紙でお渡しします。

重要情報シート（個別商品編）についてのご質問とそれぞれのご質問に対する回答例です。

- ① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。

この商品は、元本割れのリスクを許容できる方に、中長期の資産形成目的でご利用いただくことを想定した商品です。お客様ご自身で投資金額の調整や他の商品との組み合わせを行なっていただくことで、リスクの大きさを調整することができます。

なお、当社では売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。そのため、当社が、この商品はお客様に「ふさわしい」と判断してご購入を提案することはございません。

- ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。

定期的に発行している「月次運用レポート」や「運用報告書」で運用状況をご確認いただくことができます。運用報告会も定期的に開催しており、月次の「ひふみアカデミー」や年次の「ひふみアニュアルミーティング」で運用状況をご報告しております。そのほかのセミナーやイベントも随時開催しております。

当社のセミナー開催予定はひふみ公式サイトで公開しております。

<https://events-hifumi.rheos.jp/public/seminar?limit=1000>

- ③ この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

この商品はファミリーファンド形式で複数の投資信託証券への投資を通じて、国内外の未上場株式と上場株式に投資します。投資対象とする投資信託証券のうち、ひふみ投信マザーファンドは、個別購入の可能なひふみ投信と類似の運用を行ないますが、ひふみクロスオーバーマザーファンドは、お客様が個別にご購入いただける類似の商品がございません。そのため、個別の商品購入とこの商品を単純に比較いただくことはできません。

④ リスクについて、理解できるように説明してほしい。

ここでご説明するリスクとは、当ファンドを保有することにより将来的に発生する危険性をいいます。以下のリスクの影響を受けて基準価額が下落した場合は、元本欠損が生じるおそれがあります。

- **価格変動リスク**：ファンドが組み入れている株式や債券の価格が変動する可能性をいいます。一般に、株式の価格は投資先の業績や市場の状況により変動し、債券の価格は市場金利の変動を受けて変動をします。
- **流動性リスク**：市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行えない、または不利な条件で売却をしなければならない可能性をいいます。
- **信用リスク**：主に債券において、発行体（国や企業など）の経営状況の悪化などにより、債務不履行（あらかじめ決められた条件での利息や元本を支払うことができなくなる）が起こる可能性をいいます。
- **為替変動リスク**：円と外国の為替相場の変動により、外貨建資産の価値が変動する可能性をいいます。例えば、円高である場合は、外貨建資産は円建での評価額が下落するので基準価額の下落要因となり、円安である場合は、円建での評価額が上昇して基準価額の上昇要因となります。
- **カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）**：株式や債券を発行している国や地域において、政治、経済、社会の状況の変化によって市場に混乱が生じた場合、投資した資産の価値が変動する可能性のことをいいます。また、新興国市場への投資は、情報開示制度や経済的不確実性がより高いことから、価格変動が大きくなる場合があります。
- **未上場株式等への投資に関する主なリスク**：当ファンドは、投資事業有限責任組合を通じて実質的に未上場株式等に投資を行なうため、他の金融商品を組み入れた投資信託と比較して、加えて、主に以下のリスクがあります。これらのリスクにより、基準価額が大きく下落し、損失を被るリスクがあります。
 - 当ファンドが実質的に投資する未上場株式等は、各銘柄の価格が各企業の個別要因やイベント（デフォルト、上場、M & A等）によって大きく変動し、上場企業の株式とは値動きの方向性や変動率が大きく異なる場合があるため、評価額が大きく変動し、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
 - 当ファンドが実質的に投資する未上場株式等は流動性が著しく乏しいため、売却時に不利な価格での取引をせざるを得なくなるなど、流動性リスクおよび各種リスクの影響が大きくなる可能性があります。
 - 未上場株式等の評価額については、その時点で入手できる情報に基づいた公正価値の見積りであり、日々の投資信託の基準価額算出においては、影響を受ける可能性のある重要な事象を完全かつ正確に反映することが困難となります。

- ⑤ 相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

当社の商品ラインアップのうち、相対的にリスクが低いと考えられる類似商品はありません。

- ⑥ 私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

当ファンドの信託報酬として、年間税込1万6,500円がかかります。そのほかに、監査費用等の費用がかかりますが、手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、事前にお示しすることはできません。

- ⑦ 費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

当社の商品ラインアップのうち、相対的に費用が低いと考えられる類似商品はありません。

- ⑧ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

この商品の換金・解約に際して費用が発生することはございませんが、換金代金は換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。また、換金価額は換金申込受付日の翌営業日の基準価額となるため、換金代金を事前に確定することはできません。

- ⑨ あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

当社ではホームページ等に金融商品の案内等を掲載することや、セミナー等で金融商品の説明等を行うこと、お客様からのご依頼がある場合に金融商品の説明等を行うことがございますが、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、当社では不適切な金融商品の案内、説明等が行なわれないよう、役職員に対し、十分な社内研修を行っております。当社の勧誘方針は当社ホームページにて公表しております。

<https://www.rheos.jp/policy/policy/>